大阪府における
SDGsの取り組みについて

2025年6月
大阪府 政策企画部 企画室

画像出典：国連広報センター

目　次

１．SDGsとは

２．SDGsに取り組む際のポイント

３．大阪府の取り組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

目　次

１．SDGsとは

２．SDGsに取り組む際のポイント

３．大阪府の取り組み

SDGsは、折り返し地点を過ぎました。
SDGsの進捗状況はどうでしょうか？

SDGsの目標のうち軌道にのっている割合は？

A）17%

B）26%

C）52%

ＳＤＧｓの進捗状況

SDGsのターゲットのうち、現時点で達成に向けた軌道に乗っているのは**わずか17%**であり、半数近くは最低限かわずかに進捗、3分の1超は停滞または後退していることが明らかになりました。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の長引く影響、紛争の悪化、地政学的緊張、気候カオス（大混乱）の拡大により、進捗が大きく妨げられています。

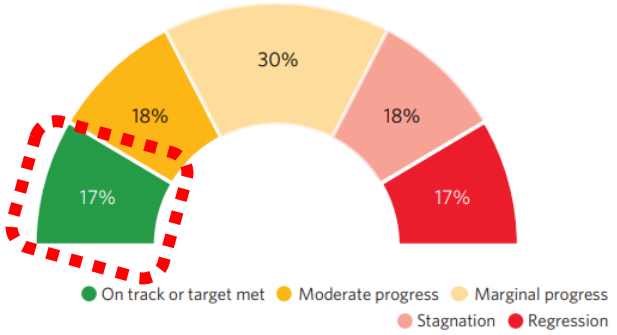
国連広報センターHPより

2024年6月にリリースされた
「The Sustainable Development Goals Report 2024」

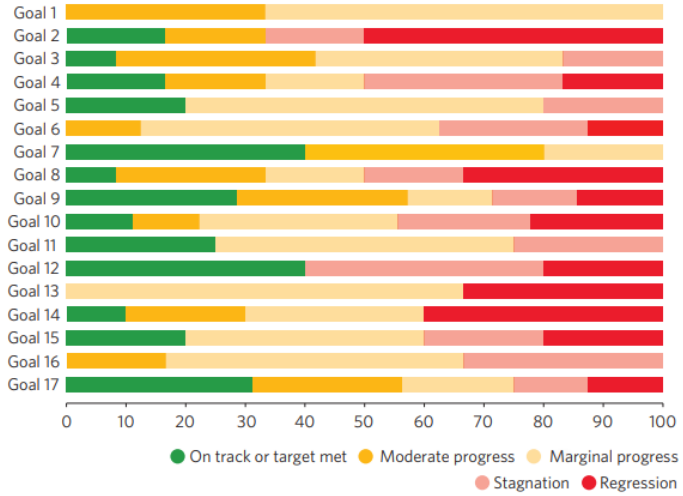
I. The current status of the SDGs: severely off track

The progress assessment carried out in 2024 reveals that the world is severely off track to realize the 2030 Agenda. Of the 169 targets, 135 can be assessed using available global trend data from the 2015 baseline to the most recent year, along with custodian agency analyses; 34 targets lack sufficient trend data or additional analysis. Among the assessable targets, only 17 per cent display progress sufficient for achievement by 2030. Nearly half (48 per cent) exhibit moderate to severe deviations from the desired trajectory, with 30 per cent showing marginal progress and 18 per cent moderate progress. Alarmingly, 18 per cent indicate stagnation and 17 per cent regression below the 2015 baseline levels.[1] This comprehensive assessment underscores the urgent need for intensified efforts to put the SDGs on course. Detailed analysis by target can be found at the end of this report.

Overall progress across targets based on 2015–2024 global aggregate data



Progress assessment for the 17 Goals based on assessed targets, by Goal (percentage)

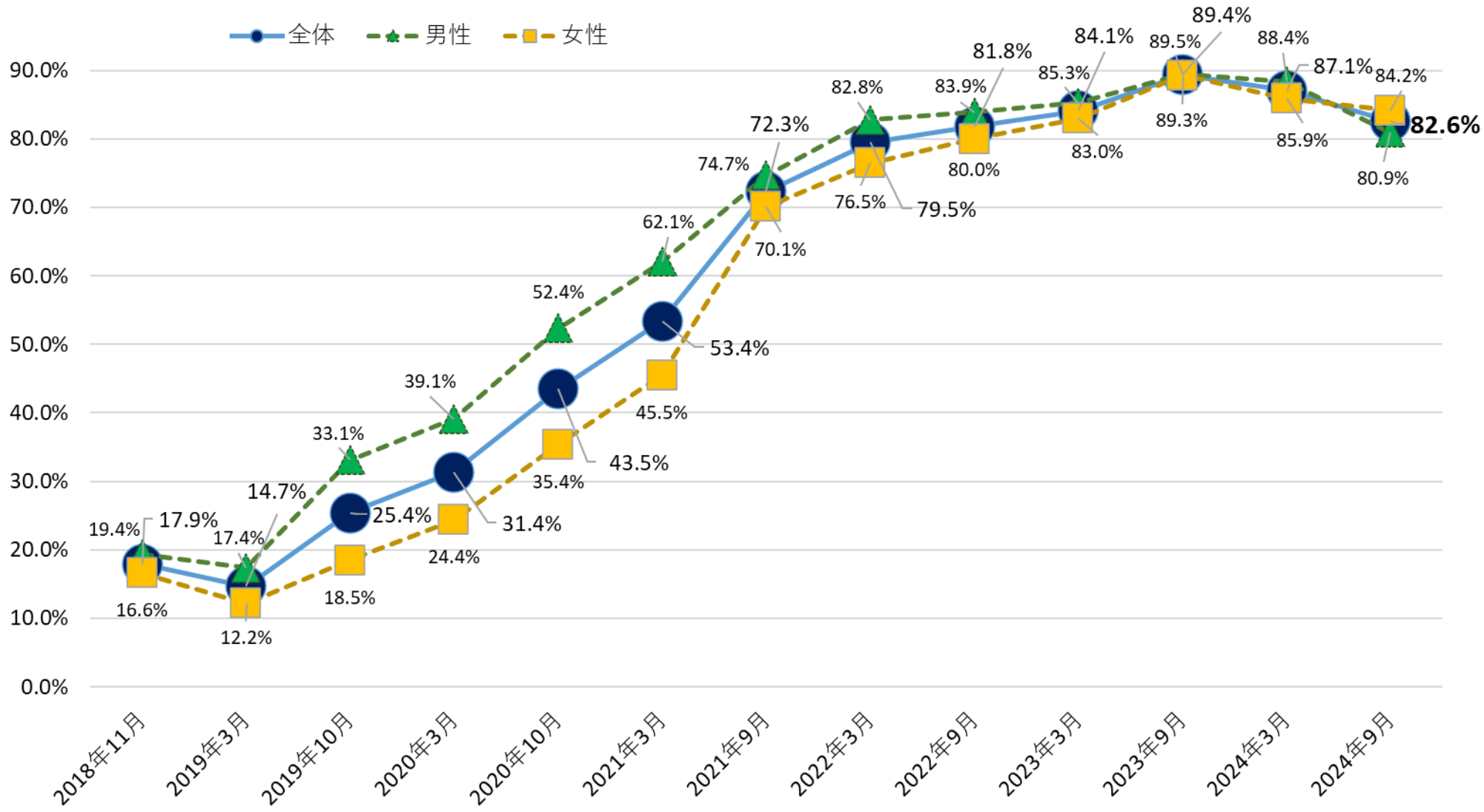


出典：「The Sustainable Development Goals Report 2024」

大阪のSDGsの認知度はどれくらいでしょうか？

【SDGsの認知度】 ＳＤＧｓ認知度調査（2024年9月）

府民全体の認知度は、82.6%（2024年9月時点）

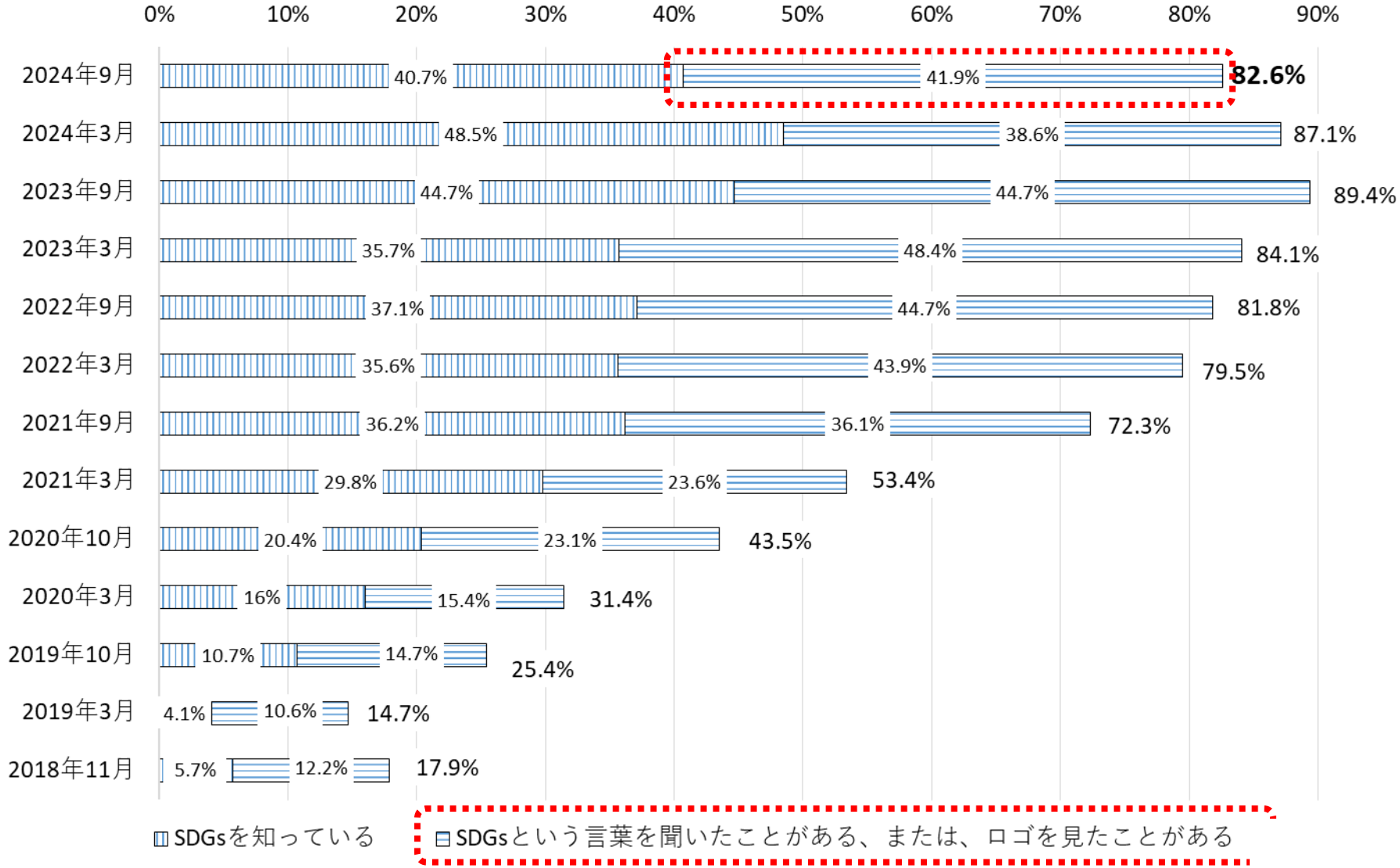


※「SDGsを知っている」と「 SDGsという言葉を聞いたことがある、または、ロゴを見たことがある」の合計をSDGsの認知度としている

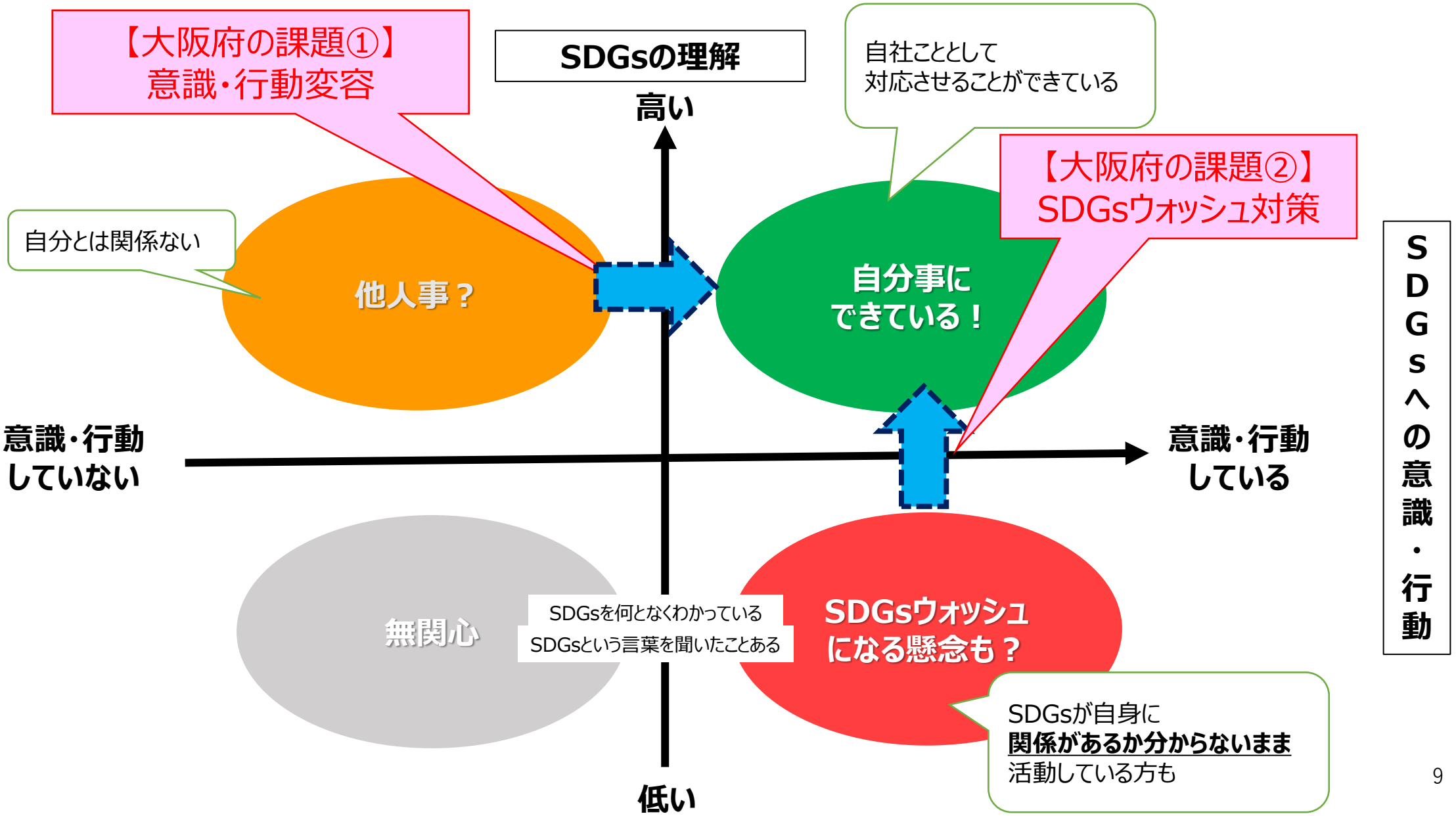
【SDGs認知度（内訳）】 ＳＤＧｓ認知度調査（2024年9月）

SDGsの認知度は高まっているものの、**半数が「 SDGsという言葉を聞いたことがある、またはロゴを見たことがある」**

■SDGs認知度（全体）



大阪府の課題（SDGsの理解×認識・行動）



「SDGsウォッシュ」とは？

⇒SDGsに取り組んでいるように見えて、実態が伴っていないことを揶揄する言葉

出展：株式会社電通「SDGs Communication　Guide」

SDGsウォッシュは、「グリーンウォッシュ（あたかも環境にはいりょしているかのようにみせかけること）」が由来とされています

SDGs（Sustainable Development Goals）とは

○ **2015年9月国連総会で採択**された**「持続可能な開発のための2030アジェンダ」**に記載

○ **2030年までの国際目標**。発展途上国のみならず、先進国自身も取り組む。

○ 持続可能な世界を実現するための**17のゴール(目標)、169のターゲット**から構成。

（出典）国連広報センター

仮 訳

2015年9月25日第70回国連総会で採択

我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ（抜粋）

前文

このアジェンダは、人間、地球及び繁栄のための行動計画である。これはまた、より大きな自由における普遍的な平和の強化を追求ものでもある。我々は、極端な貧困を含む、あらゆる形態と側面の貧困を撲滅することが最大の地球規模の課題であり、持続可能な開発のための不可欠な必要条件であると認識する。

すべての国及びすべてのステークホルダーは、協同的なパートナーシップの下、この計画を実行する。

我々は、人類を貧困の恐怖及び欠乏の専制から解き放ち、地球を癒やし安全にすることを決意している。我々は、世界を持続的かつ強靱（レジリエント）な道筋に移行させるために緊急に必要な、大胆かつ変革的な手段をとることに決意している。

我々はこの共同の旅路に乗り出すにあたり、**誰一人取り残さない**ことを誓う。

今日我々が発表する17の持続可能な開発のための目標（SDGs）と、169のターゲットは、この新しく普遍的なアジェンダの規模と野心を示している。これらの目標とターゲットは、ミレニアム開発目標（MDGs）を基にして、ミレニアム開発目標が達成できなかったものを全うすることを目指すものである。これらは、すべての人々の人権を実現し、ジェンダー平等とすべての女性と女児の能力強化を達成することを目指す。

これらの目標及びターゲットは、統合され不可分のものであり、持続可能な開発の三側面、すなわち**経済、社会及び環境の三側面を調和させるものである。**

これらの目標及びターゲットは、人類及び地球にとり極めて重要な分野で、向こう15年間にわたり、行動を促進するものになろう。

出典：国際連合広報センターホームページ

SDGsの17のゴール

①貧困	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。
②飢餓	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。
③保健	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。
④教育	すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。
⑤ジェンダー	ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。
⑥水・衛生	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。
⑦エネルギー	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。
⑧経済成長と雇用	包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する。
⑨インフラ、産業化、イノベーション	強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。
⑩不平等	各国内及び各国間の不平等を是正する。
⑪持続可能な都市	包摂的で安全かつ強靱(レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する。
⑫持続可能な生産と消費	持続可能な生産消費形態を確保する。
⑬気候変動	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。
⑭海洋資源	持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。
⑮陸上資源	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。
⑯平和	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。
⑰実施手段	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

（出典）外務省　「持続可能な開発のための2030アジェンダ（仮訳）」

SDGsの17のゴール（５つのP)

（参考資料）SDGsの世界観(The New Division社のSDGsマニュフェスト)

2030 年の世界

Imagine a different world

想像してみてください、今とは違う世界を

この世界には、貧困も飢餓もありません。
すべての人が健康と福祉を手にしています。
質の高い教育はジェンダー平等の社会を導きました。

世界の人々に安全な水と持続可能なエネルギーが行き渡り
持続可能な発展を後押ししています。

働きがいと経済成長によって安定した社会となり
持続可能な産業と技術革新への投資に転換したおかげで
国の不平等がなくなりました。

誰もが持続可能な街やコミュニティに住み
つくる責任とつかう責任は、気候変動防止に貢献しています。
海の豊かさの保護と陸の生物多様性で
地球上のすべての命が豊かになりました。

地球上のすべての人々がついに平和で公平な社会に生き、
グローバルなパートナーシップが大切な役割を担っています。

「出典:The New Division、(株)ワンプラネット・カフェ訳」

目　次

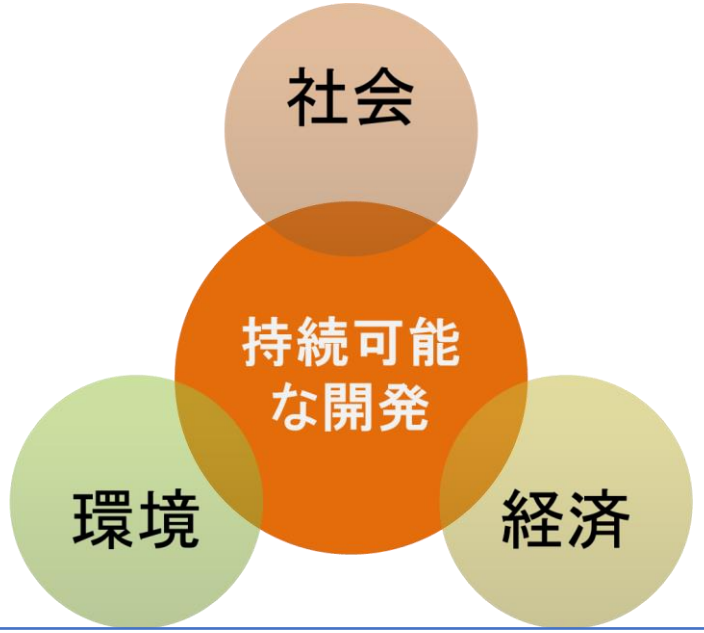
１．SDGsとは

２．SDGsに取り組む際のポイント

３．大阪府の取り組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

【SDGsのポイント①】 経済、社会、環境の統合による課題解決と新しい価値の創造



<ポイント>

○ **社会課題の併記**

これまで対立すると考えられていた、「人権と開発」、「環境と経済成長」等の社会課題を併記。

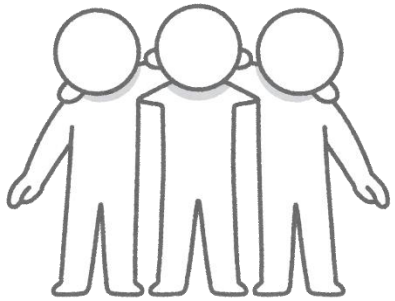
（「より良い社会」というより高次のビジョンの提示）

○ **経済的な視点の包摂**

「持続可能性」≒「経済性の担保」 ⇒ 経済的な要素の必要性を謳う。

（ビジネスなど、自己メリット追及型の課題解決アプローチの許容）

【SDGsのポイント②】 誰一人取り残さない



みんなで頑張る

社会的に弱い立場にある人々を含め、あらゆる人を、排除や摩擦、孤独や孤立から援護し、社会（地域社会）の一員として取り込み、支え合う考え方のこと。

<ポイント>

○ **野心的（背伸び）**

全ての人を救済するというハードルの高い、野心的な理念・ビジョンの提示

○ **支えあいの精神**

SDGs達成のために取り組むべき主体は国際社会、地域（region)、国家、地方(local）、企業、教育機関、NPO/NGO、個人

⇒どんな人間も必ず課題解決のアクターになりうる。

【SDGsのポイント③】 横串の視点

<ポイント>

○ **同時解決**（あるゴールの解決のための取組みを、別のゴールの課題解決につなげる）

○ **インパクトのベクトルを変える**

（社会に悪影響を及ぼすアクションに工夫を加え、別のゴールのポジティブアクションに変える）

○ **トレードオフの考慮**

（社会のためにしていることが、他のゴールの視点で見ると悪影響を及ぼす可能性を考慮する）

安価なバイクで
街の移動が
便利に

交通事故が
急増

【SDGsのポイント④】 バックキャスティング

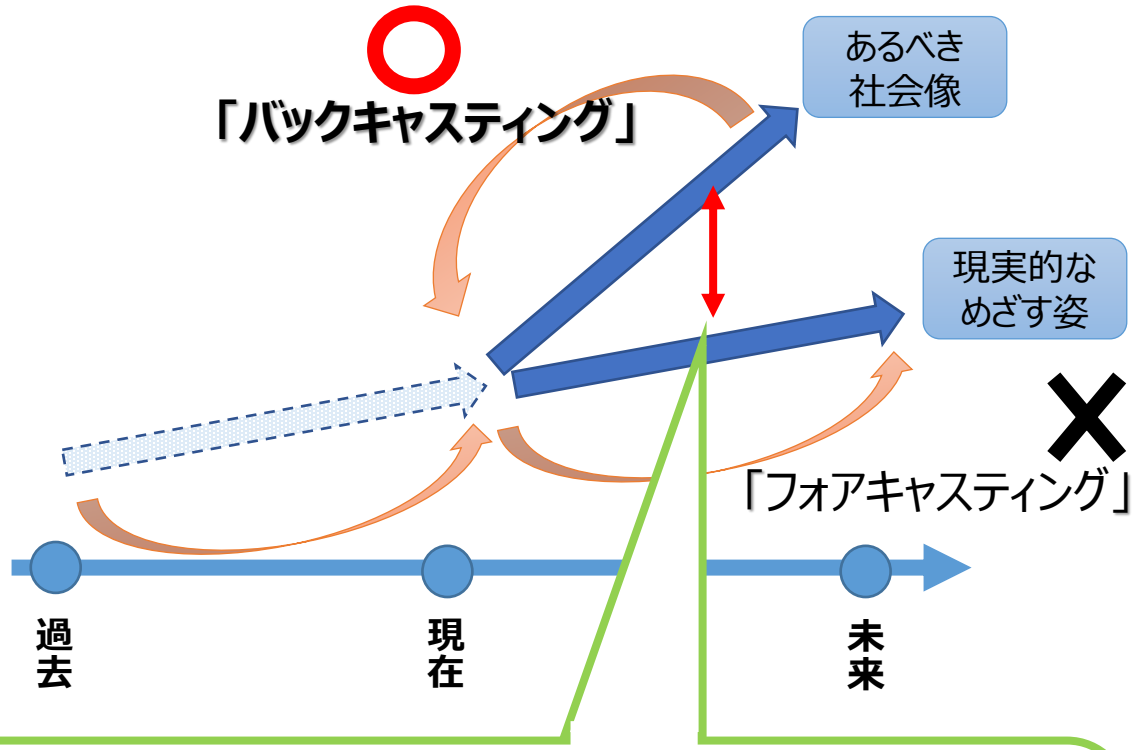
SDGs

「バックキャスティング」

未来のある時点に目標を設定しておき、そこから振り返って現在すべきことを考える方法

「フォアキャスティング」

過去のデータや実績などに基づき、現状で実現可能と考えられることを積み上げて、未来の目標に近づけようとする方法



・どうしても、足りない部分は、**新たなアイデアやイノベーション等で**クリアしていく

・自社単独では難しいものは、パートナーシップで、色んな方と協業し、**みんなで革新を創出**していく

目　次

１．SDGsとは

２．SDGsに取り組む際のポイント

３．大阪府の取り組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

これまでの主な経過

大阪府の取組み	国の動き	関連項目
		2015年9月 **国連総会にてSDGsを採択**
	2016年5月 SDGs推進本部設置 2016年12月 SDGs実施指針策定	
2018年4月　大阪府SDGs推進本部設置	2018年6月～ SDGs未来都市及び自治体・SDGsモデル事業の選定開始 2018年6月 Japan SDGs Action Platform 設置	
		2018年11月 **大阪・関西万博開催決定**
	2019年12月 SDGs実施指針改定	
2020年3月　Osaka SDGs ビジョン策定 2020年7月　SDGs未来都市及び自治体SDGsモデル事業に採択 （大阪市と共同提案） 2020年12月　大阪SDGsネットワーク設置 **2021年1月　大阪SDGs行動憲章策定** **2021年2月～　私のSDGs宣言プロジェクト開始**		

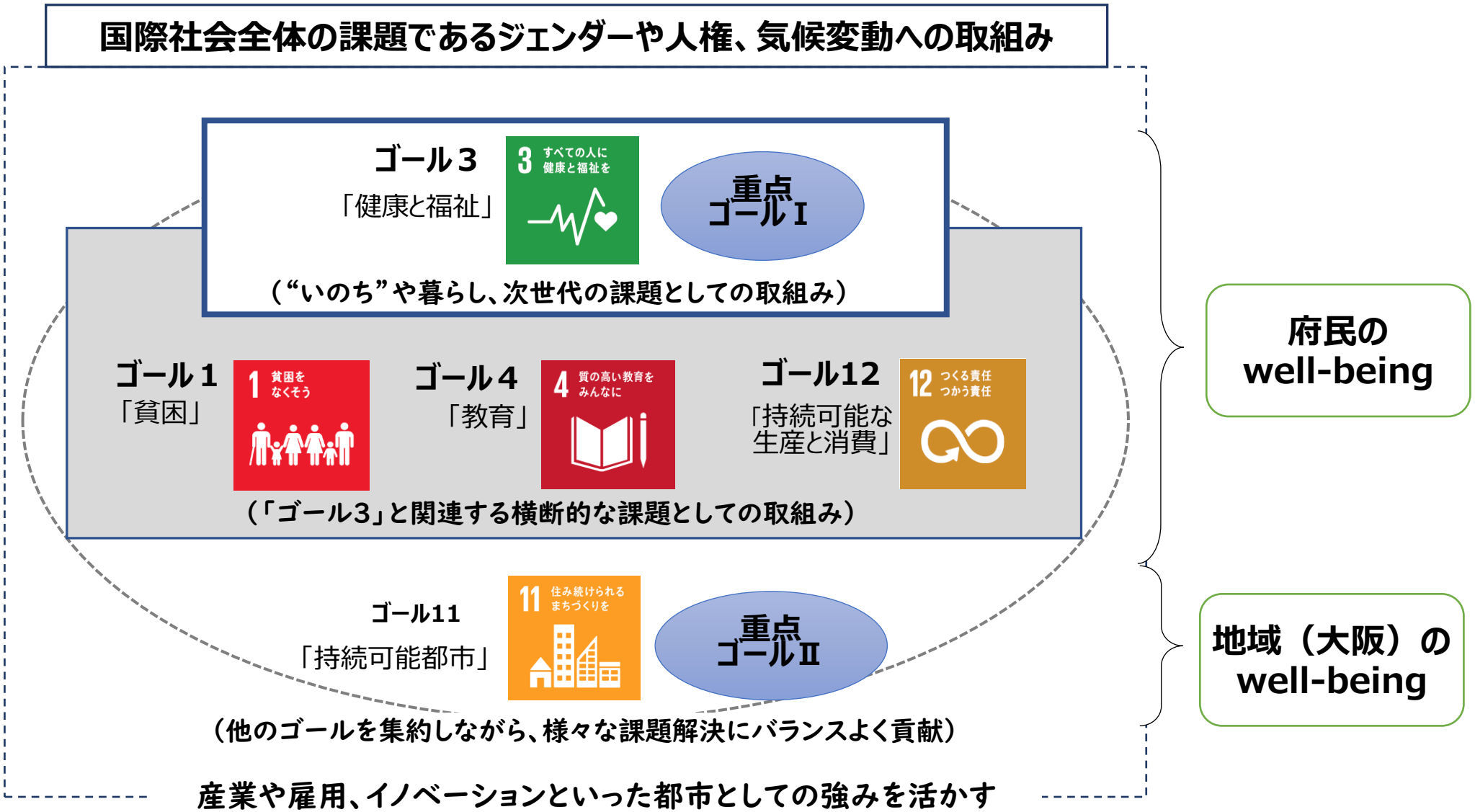
OSAKA SDGｓ ビジョン

OSAKA SDGs ビジョン策定の意義

「Osaka SDGs ビジョン」は、2025年大阪・関西万博の開催都市として、世界の先頭に立ってSDGsの達成に貢献する「SDGs先進都市」を実現するため、大阪がめざすSDGs先進都市の姿を明確にし、府民や企業、市町村など、様々なステークホルダーと共有することで、オール大阪でSDGsの新たな取組みの創出を図っていくことを目的に策定（2020年3月策定）

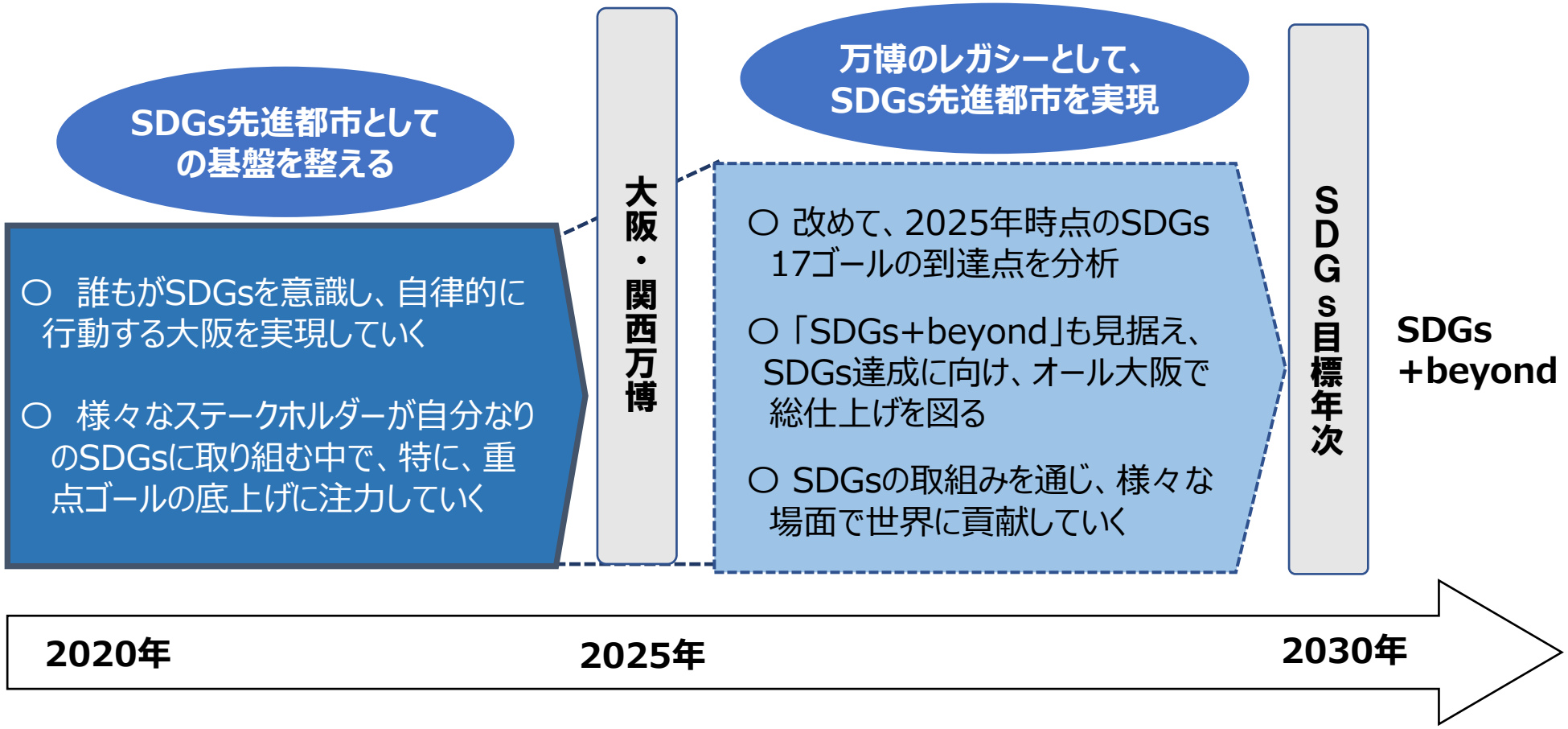
こちらより確認できます

2025年大阪・関西万博に向けて取り組む「重点ゴール」



「OSAKA　SDGｓ　ビジョン」における取り組み工程

○　**万博に向け、「SDGs先進都市」としての基盤を整え**、2030年のSDGs目標年次に向けた総仕上げを図る中で、**万博のレガシーとして「SDGs先進都市」を実現**する。



（参考資料）SDGs と2025年大阪･関西万博の関係性

SDGs

将来像

SDGsが達成された社会

理　念

◆**誰一人取り残さない**
◆**将来世代**のニーズを損なうことなく、**今の世代**のニーズを満たす

達成ポイント

先端技術を活用した社会課題の解決

特徴

持続可能な社会の実現に向け、世界の大胆な変革が必要となることを、全ての国連加盟国が採択
（**人類の英知の結集**）

目標年限

２０３０年

大阪･関西万博

テーマ

いのち輝く未来社会のデザイン

サブテーマ

Saving Lives（いのちを**救う**）
Empowering Lives（いのちに**力を与える**）
Connecting Lives（いのちを**つなぐ**）

コンセプト

People’s Living Lab（未来社会の実験場）

特徴

地球規模のさまざまな課題に取り組むために、
世界各地から英知を集める場

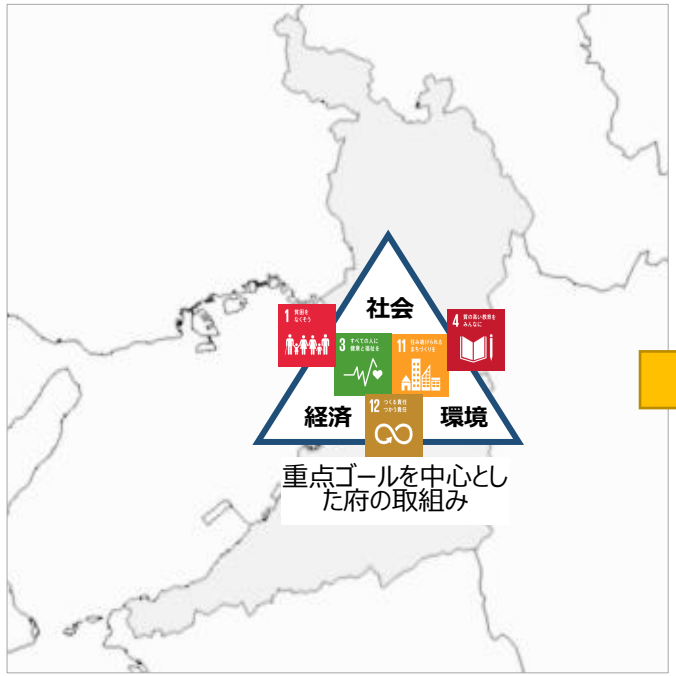
開催時期

２０２５年

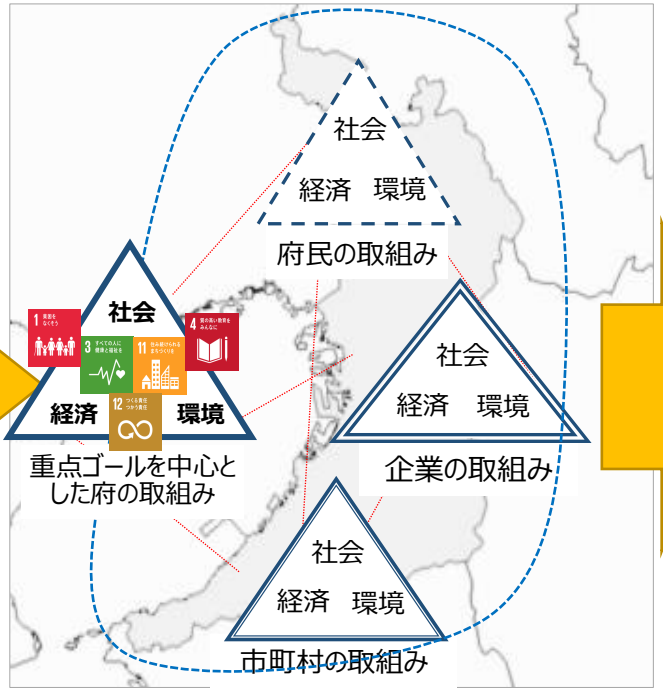
SDGs先進都市をめざして

SDGs先進都市　＝　誰もがSDGsを意識し、一人ひとりが自律的に17のSDGs全ての達成をめざしていくこと

→様々なステークホルダーが連携・協調し、「大阪」がSDGsを体現したまちを発信していく



2025年



万博において、大阪のあらゆるステークホルダーが、会場の内外でSDGsを体現し、行動する姿を世界に発信

2030年

日本全体や世界とのつながりの中で、先頭に立って、世界とともにSDGsを達成する

大阪SDGs行動憲章の策定（令和３年１月）

わたしたちは、「誰一人取り残さない、持続可能な社会の実現」をめざす“持続可能な開発のための2030アジェンダ”（SDGs）の理念に賛同し、2025年大阪・関西万博の地元都市として、万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」に向けて、SDGsの17ゴールの達成をめざします。

❶ かけがえのない“いのち”を大切にし、地域社会や環境に配慮して行動します。

❷ 2030年に住みたい魅力あふれる大阪をイメージし、できることから意識して行動します。

❸ 人と人との出会い、つながりを大事にしながら、互いに学びあい協力して行動します。

私のSDGs宣言プロジェクト（令和３年２月）

府民や府内企業・団体などあらゆるステークホルダーに SDGs を知ってもらい、具体的な行動につなげるために策定した「大阪 SDGs 行動憲章」の趣旨に沿って、自らが行う SDGs の達成に向けた行動を宣言するプロジェクトです。

対　象　府民、府内の企業・団体など

宣言内容　SDGsの達成に向けた取組み、関連するゴール

参加方法　大阪府ホームページ、大阪府SDGs【公式】Twitter

取り組み宣言の例

12 つくる責任 つかう責任

冷蔵庫の中を把握して、必要な分だけ買い足す

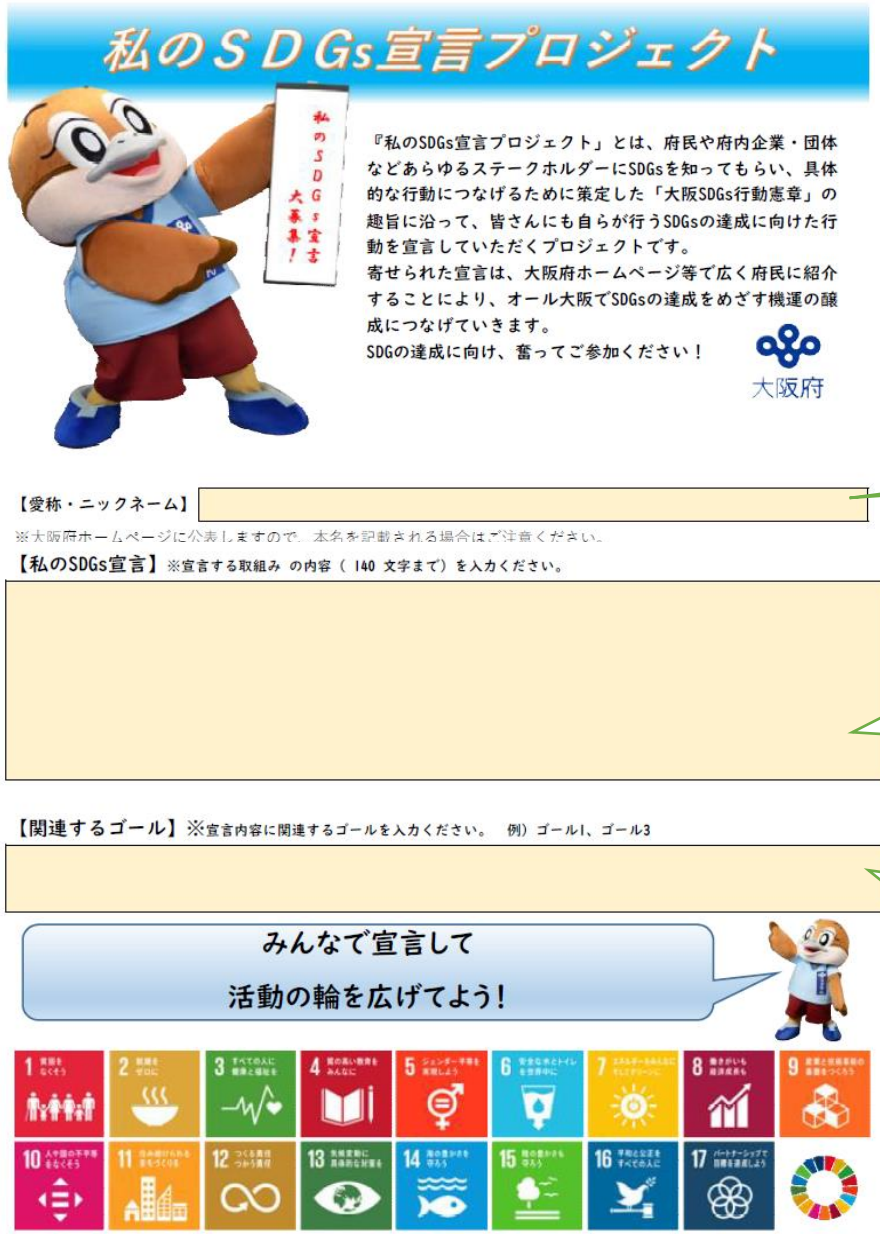
14 海の豊かさを守ろう

エコバッグやマイボトル、マイ容器を使う

8 働きがいも経済成長も

誰もが働きやすい職場環境を作る

私のSDGs宣言プロジェクトへの参加のお願い



①愛称・ニックネームを
ご入力ください
（空白でも構いません）

②SDGs宣言を入力ください
（個人としてでも、職員としてでもどちらでも構いません）

③記載したSDGs宣言に
関連すると思うゴールを入力ください

【参考資料】「府内企業のためのＳＤＧｓお役立ち情報」

・「府内企業のためのＳＤＧｓお役立ち情報」を公開しております

大阪府 Osaka Prefectural Government

防災・緊急情報 | 分類から探す | 目的から探す | 組織から探す | キーワードから探す

府内企業のためのSDGsお役立ち情報

SDGsのさらなる推進に向け、大阪府内企業等のみなさまにご活用いただける情報を掲載しています。

OSAKA SDGs データブック

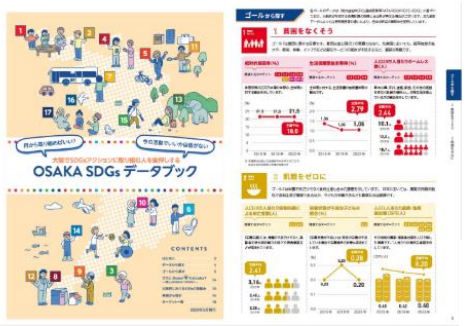
大阪府では、SDGs達成に向けて大きな役割を果たす企業・団体のみなさまによる取組みの支援を目的に、『OSAKA SDGs データブック』を作成しました。

本書では、SDGsの17のゴールに関連する指標を掲載しており、これらの指標は、国際連合地域開発センター（UNCRD）や、大日本ダイヤコンサルタント株式会社がメンバーの自治体SDGsモニタリング研究会が、官民連携で開発している「地方自治体SDGs達成度評価」の指標を活用しています。また、この指標は、レポート「2030年までの道筋：地方自治体SDGs達成度評価2023」においても使用されています。

府内企業等による取組事例も紹介していますので、是非ご活用ください。

（参考）地方自治体向けSDGs モニタリングツールの共同開発（外部サイトへリンク）

■ OSAKA SDGs データブック（PDF：6,464KB）



大阪府内市町村の登録・認証制度等

SDGsに関する登録・認証制度を実施している大阪府内市町村の一覧です。

市町村名	ホームページ
堺市	さかいSDGs推進プラットフォーム（外部サイトへリンク）
豊中市	豊中SDGs・公民学連携プラットフォーム（外部サイトへリンク）
枚方市	SDGs認証制度（外部サイトへリンク）
富田林市	富田林市SDGsパートナー（外部サイトへリンク）
阪南市	はんなん・Co-ベネフィット創出ネットワーク登録制度（外部サイトへリンク）

■ 民間企業提供ツール

大阪府と包括連携協定を締結する企業様にご協力をいただきました。是非ご活用ください。

SDGsの取組みを発信する

【協力】
リコージャパン株式会社

リコージャパン株式会社が、全国の経営者の方々に向けて、経営のお役立ち情報を発信するメディアサイト「中小企業応援サイト」において、「＃明日から始めるSDGs」を紹介されています。

またリコージャパンが主催するSDGs研究会で使用している「ESGまとめシート」をご提供いただいております。自由にダウンロードしていただけますので、是非ご活用ください。

【リコージャパン「中小企業応援サイト」】
https://www.ricoh.co.jp/magazines/smb/all/?column=09（外部サイトへリンク）

「聞かれたら答える」ではもったいない！SDGsの広報のポイントと注意点

【SDGs研究会発表ツール（ESGまとめシート）】
ESGまとめシート（PDF：158KB）

ESGまとめシートの記入例として、SDGs研究会参加企業の日光産業株式会社様にご協力をいただきました。
（日光産業株式会社様のESGまとめシートは、同社ホームページ（外部サイトへリンク）よりご確認いただけます）

リコージャパン主催のSDGs研究会につきましては、以下のリコージャパンホームページでご確認ください。
/sdgs-study-group/（外部サイトへリンク）

こちらより確認できます

【参考資料】「OSAKA ＳＤＧｓ データブック」

府内中小企業・団体などステークホルダーのSDGsアクションを後押しするため、大阪のＳＤＧｓに関するデータや事例をわかりやすくまとめたデータブックを作成しました

メインターゲット｜企業のSDGs担当、NPOの代表者

SDGs担当等の悩み

- ✓ 何から取り組んだら良いか**わからない**
- ✓ 今取り組んでいる活動のままでいいか**自信がない**

データが「何をしたらいいか」のヒントを与え
「なぜその活動をするのか」を後押しする

データブックの構成と使用イメージ

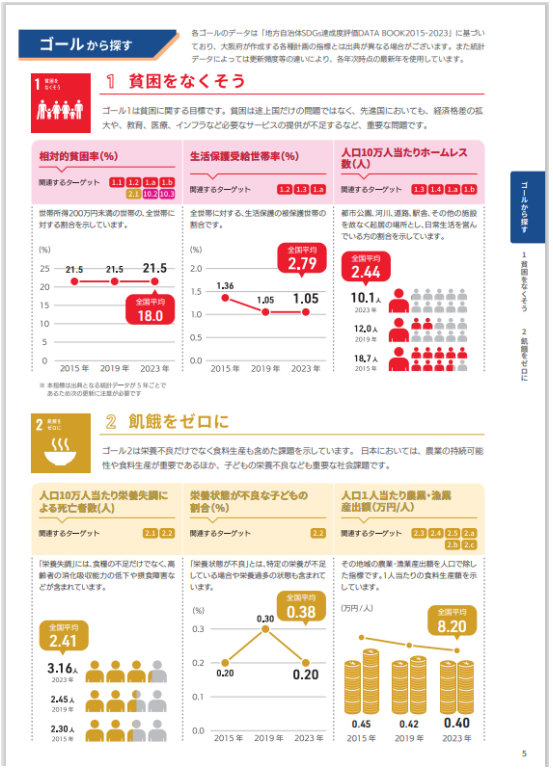
データブックは、[ゴール一覧][データー覧][事例集]で構成

（使い方のイメージ）

- **企業理念等に近い<u>ゴール</u>から考えていく**

- **業界・事業活動に関連する<u>データ</u>から考えていく**

- **<u>事例集</u>を参考に考えていく**



こちらより確認できます

大阪府

ご清聴ありがとうございました。

大阪府　SDGs

⇒ HP「大阪府／大阪府におけるSDGsの取組み」

【お問い合わせ先】

大阪府 政策企画部 企画室 連携課
TEL:06-6944-6118（内線：6118）
Mail:osaka_SDGs@gbox.pref.osaka.lg.jp

OSAKA SDGs